

『センターまつり』にて骨盤底筋運動&排泄相談

11月5日(日)に大分市にある大分県社会福祉介護研修センターで行われた『センターまつり』でコンチネンス協会として参加させて頂きました。4年ぶりの開催という事で、大変多くの参加者で賑わっていました。

コンチネンス協会では、骨盤底筋運動の講習会と排泄相談を行い、私は骨盤底筋運動の指導を担当し、2回に分けて講習会をしました。排泄にお困りの支援者の方も多くいらっしゃると思いますが、腹圧性尿失禁と切迫性尿失禁と言われる失禁のタイプでは、骨盤底筋を鍛える事で失禁が改善されます。

Re-NKでは、コンチネンスリーダーの資格を保有している為、排泄相談も行う事ができます。ぜひお困りの際はご連絡下さい♪



大分の医療を考える“ブダ医5n会”

11月19日(日)に大分大学医学部先進医療科学科が主催の“ブダ医5n会”という今年から始まった異業種交流会に登壇してきました。講師は5名で一人10分という目安があったのですが、熱が入り過ぎて私も含め皆さん20分以上も話をしてしまう程、バイタリティに溢れた会でした。

大学の教授等もいる中での講義で大変恐縮ですが、自分の想いや活動を知ってもらえる良い機会となりました。



リハビリコラム

医療機関での3Dプリンタ研修会

大分中村病院のリハビリスタッフ向けに3Dプリンタの研修会を開催致しました。作業療法士はよく自助具を作成しますが、これまで100均で買ってきたものを組み立てたり、既存の製品を紹介したりしてきました。しかし、「見た目が悪い」、「コスパが悪い」、「同じ物を簡単に作れない」、「もう少し小さく(大きく)したい」など感じる事が少なくありません。

3Dプリンタは、『デザイン性』『個別性』『汎用性』『コスパ』に優れており、これまでの悩みを解決できると思います。医療機関だからこそ、このようなツールを活用する事で、クライアントが早期に自助具を手にする事ができ、より作業を行いやすくする導入に役立つ事と思います。

自助具は心身機能の治療の効果が上がらない事を確認してからしか考えてはいけないと思い込んでいる人も少なくありません。さらに、自助具を考える事を「諦め」「治療放棄」「専門職としての役割放棄」などと見なす人さえいます。しかし、治るか治らないかに関わらず、自助具はいつでも誰にとっても即効性があり、より作業を考える上で大切な道具となり得ます。

以前働いていた職場で、大変お世話になった場所での研修会あった為、いつも以上に熱が入った講義となりました。



人と人、人とまち、人と作業を繋げる。

まずはお気軽にご連絡ください

☎ 090-5087-3813

別府市リハビリリンク

🔍 検索

